

二年学年だより

No. 3

6月号

令和5年6月1日発行

202HR

“当たり前”をできたらすごい

教室にある凡事徹底の掲示をじっくり見たことはありますか？ 凡事徹底とは、「何でもないような当たり前のことを徹底的に行うこと」です。

しかし、当たり前とはどういうことをいうのでしょうか？ 先生が考える“当たり前”と生徒が考える“当たり前”にはズレがあるようにも思えます。また、会社経営者が従業員に求める“当たり前”を検索してみると、多くを求めすぎていて、共感できないものもありました。“当たり前”は人によって違うため、漠然と「当たり前のことをちゃんとしなさい！」といっても伝わらないのではないかと考えています。

教室にある凡事徹底の掲示には、挨拶・清掃・時間・身だしなみ・生活について書かれています。これらは、みんなが同意することができる「〇〇した方がいいこと」であり、“当たり前”といえると思います。派手さはなく、目標とするには物足りないかもしれませんが、しかし、全部しっかりできていると言える人は少ないのではないのでしょうか。これらのことがちゃんとできたらすごいことです！“当たり前”だとしても、できた自分を褒めてあげてください！

できている自分を実感すると、自分を信頼できるようになり、自分に期待するようになり、目標を持つことができます。皆さんは自分に自信を持っていますか？ 自信が持てない人は、これらのことをやってみてください。私は、挨拶・清掃・時間・身だしなみ・生活に加えて、しっかりと聞くことをお勧めします。自分がこれまでにやっていなかった“当たり前”の中から、自分にやれそうなことを見つけて、徹底的にやってみませんか？ 自分を誇れるようになるとと思いますよ。 (202HR 担任)

言葉の力

言葉は私たちの生活において非常に重要な役割を果たしています。その力は人々を励まし、夢を叶える力を持っています。特に高校生の皆さんにとって、言葉の力は大きな影響を与えることができるのです。

まず、言葉は他者とのコミュニケーションにおいて重要な役割を果たしています。気持ちのよい挨拶や正しい言葉遣い、丁寧な表現は、人々との関係を築く上で欠かせません。言葉の使い方ひとつで、人々に好意を持たれたり、信頼を得たりすることができます。一方で、悪意のある言葉は相手を傷つけるだけでなく、自分自身にも悪い影響を与えることを忘れてはなりません。

また、言葉は自己表現の手段としても重要です。思いや考えを言葉にのせて表現することで、自分自身を理解してもらい、他者とのつながりを深めることができます。自分の意見や感情を適切に伝えることは、人間関係を円滑にし、問題解決にも役立ちます。言葉は思考を整理し、自己成長にも繋がるのです。

さらに、言葉には夢や目標を叶える力もあります。自分自身や他者に対して、励ましや希望を与える言葉は、心の支えとなります。達成したい目標や夢に向けて、自分に対して積極的な言葉をかけることは、自信を深める助けになります。言葉は私たちの内なる力を引き出し、前に進む勇気を与えてくれるのです。

皆さんは言葉の力を最大限に発揮できていますか。まずは朝の『おはよう！』の元気な挨拶から始めてみよう。 (202HR 副担任)

